越谷なごみの郷だより

けやきとお菊さん

平成26年秋号

〒343-0827
埼玉県越谷市川柳町 3-60-1
社会福祉法人エンゼル福祉会
越谷なごみの郷
TEL　048-987-0753
FAX　048-987-0759
http://www.k-nagomi.or.jp

けやきとお菊さんの由来
地域とともに発展していけるようにとの願いを込めて
越谷市のシンボルである「けやき（木）と菊（花）」の名前をつけました。

おせっかいネットの輪

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災、救援の人手をはじめ、食糧などの物資の不足はもちろん、電話は混線し、被災地状況は不明であった…こうしたことから、いざ、災害になった時に黙っていても力を貸してくれるネットワークが必要だと全国災害支援法人ネットワーク通称、おせっかいネットが結成されている。

その中の山形、福島、宮城から実際の話しを通して、どんなことが重要なのかを話して頂く会を 10 月 18 日夜 19 時から、地域の方達や行政の方も参加していただき、開催となった。

上っ面の訓練ではダメだと痛感すると同時に、行政を入れた細かな話し合いが必要であり、地域でどう連携するのか、課題は山積みである。備蓄も、社会福祉法人は地域の人のことを考えておくことも大切であると感じた。

炊き出し みちのく芋煮隊 ここに参上！！

いつ、どこで自然災害や人災が起こり得るかわからない状況下で、おせっかいで応じるには、被災地から遠い安全な事業者であることが重要である。そうした中から、福島、山形、宮城の社会福祉法人の方々が被災地に出向いて炊き出しをするのに、事前訓練なしでは、想定外の対応が図れない！とみちのく芋煮隊を結成。イベントを通じて交流と共に、炊き出しの訓練を実施していただきました。見たこともない、おおきなお鍋に驚き、なんと五百杯もの芋煮を無料で振舞って下さいました。

おせっかいネットとは？

現在、全国各地、北は北海道から、南は長崎県までの 18 の法人の方々によって結成されている。いざ、災害になった時に黙っていても力を貸してくれるネットワーク「全国災害支援法人ネットワーク」の通称である。

1、自法人でしっかりと災害準備をする
2、災害情報を得たら、罹災地域の会員法人から要請を受けなくても勝手にそこに対して支援行動を行う
3、年2回は、事業者見学や勉強会を通じて顔を合わせる機会を作る

という理念のもと日々、各法人が活動中である。

思い出タイムスリップ ～回想法の旅～

ふと懐かしい曲を聴いて、そのときの気持ちを思い出すことがありますよね。それを回想法といいます。
回想法には脳に刺激を与え、精神の安定と認知症予防の効果があります。

今も続く NHK の「朝のドラマ」は、その時代の象徴でもありました。
テレビというものが庶民の家庭に普及されたのは昭和 28 年。白黒で真空管のテレビでした。
普及された当時は、プロレス・プロ野球に皇室アルバム等が人気だったようです。
テレビは最初の２５年で確立されたと言われています

思い出タイムスリップ第二弾は 1980 年代の朝ドラを一部掲載します。

１９８０年代朝のドラマ抜粋

おしん
昭和58年～59年

はね駒
昭和61年～62年

澪つくし
昭和60年～61年

はっさい先生
昭和62年～63年

いちばん太鼓
昭和60年～61年

ノンちゃんの夢
昭和63年～64年

歴代最高の平均視聴率をもつ**「おしん」**。

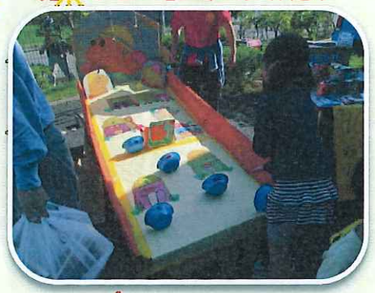
それ以降、ずっと低迷を続けていた連続テレビ小説。

今年放送され、9 月 27 日に最終回を迎えた**「花子とアン」**が

過去10年で最高の22.6%を記録しました。

地域の方もソーランソーラン！座って出来るソーランに挑戦！

なごみ 第９回和太鼓祭



お天気にも恵まれました

やっとさー♪
やっとさー♪

第１回ボランティア懇親会

施設職員とボランティアさんとの連携を深める為、第１回ボランティア懇親会を開催しました。当日は、多くのボランティアさんが参加してくださり、改めてボランティアさんの「力」を実感しました。

今よりもっと越谷なごみの郷とボランティアさんが思い描きあえる関係づくりのため、この会を続けていきたいと考えています。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

お手伝いしてくださる方 ぜひ！ご連絡ください

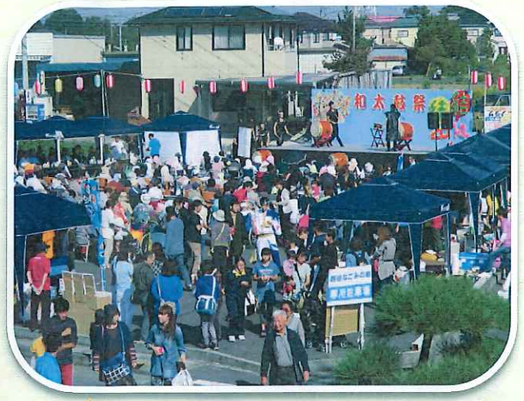
越谷なごみの郷では、日常生活を支援してくださるボランティアさんを募集しています。
布団干し、草むしり、シーツ交換…どんな些細なことでも大歓迎です。
これはどうかしら？と思ったら、まずご連絡ください！！
施設の見学や、ボランティアをしている方の様子見学なども行っています。

水撒き

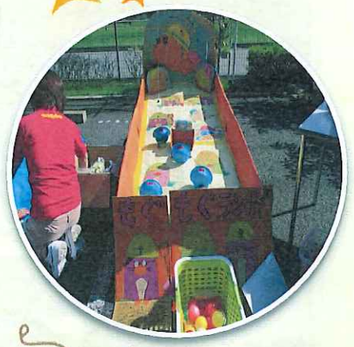
布団干し

30分からでも大歓迎です！

第9回和太鼓祭（なごみ）



プログラムも
盛りだくさんでした！



みちのく芋煮隊の方々に
炊き出しを振る舞って
いただきました

川柳地区の
スポーツ・レクリエーション
推進委員会の皆様も
焼き鳥でお祭りを
盛り上げてくれました！

結びつき、実感。

第９回なごみ和太鼓祭りは、素晴らしい晴天に恵まれ、
10月19日（日）多数のご来場をいただき無事に終了する事が
出来ました。これは何より地域の皆さま方のご支援とご協力の
賜物と深く感謝申し上げます。
今年度のテーマは「結～むすぶ～」で、ございました。
これは和太鼓祭りをきっかけに、「地域と結ぶ」「利用者様と結ぶ」
「職員が結ぶ」と皆さんが一つに結ばれる事が出来ればという願
いから選んだテーマでした。そういった意味では、皆さんのお声
を聴くと目的は達成できたのではないかと感じております。
まだまだおもてなしの部分では不十分だという反省は
ございますが、今年度の反省を活かし、来年度は
さらに皆さま方に満足していただけるお祭りに
すべくまた準備を進めてまいります。
最後になりますが、ご協力くださった皆様、
本当にありがとうございました。
また来年度も是非ともよろしくお願い申し上げます。

第９回なごみ和太鼓祭り実行委員長
松久　晋也

事前準備も力を入れました

事前の発表会も緊張しました

もしやこの猫ちゃんは…？！

花

生け花ボランティア

四季折々、1年を通して様々な花が咲くように、人の一生の様々な場面にも花は登場します。
生まれた時・入学や卒業・結婚を迎えた祝いの時、病を患った時や弔いの時まで、節目には花がありました。
花は、私たちが嬉しい時に共に喜び、悲しい時には何も言わずに慰めてくれます。
なごみの郷の玄関口にも、「**いけばな山月（さんげつ）さん**」により、いつもきれいなお花が生けられ、高齢者の目を楽しませてくれています。
いけばな三月さんは「**花を見た人に、一瞬でも安らぎを感じてほしい**」と願い、なごみの郷だけではない、全国の学校や駅、病院など、様々な場所に花を生け、街に彩りを添えて下さっています。

ちょっぴり委員会紹介

感染・衛生対策委員会

感染・衛生対策委員会では、施設内に風邪やその他のウイルスを持ちこまないように、正面玄関や職員通用口に「消毒器」を置いています。
特に、職員用通用口に置いてある「消毒器」には、毎月いろいろな仕掛けをして、職員への意識付けに取り組んでいます。
抜き打ちの「突撃となりの手洗い！」にも取り組んでおり、日々、手洗いの重要性を職員、そして利用者さまに発信しています。

おみくじ風

ハロウィン風

いつでも
突撃準備は
出来ています！

今年のテーマは
「結～むすぶ～」

ありがとう
ございました

モンゴル人と日本人

浦田　光雄

十数年前、モンゴルの首都ウランバートルにある某私立大学で日本語を教えたことがあります。たいそう親日的な国です。モンゴルと言えば、日本では大相撲で活躍している力士たちを思い浮かべるでしょう。顔が我々とよく似ています。日本人とモンゴル人とが一緒に写っている集合写真を見ると、見分けがつきません。友人に全員当てられたらご馳走するよと問いかけても、一人として完璧に当てた者はいませんでした。

彼の国では女性も男性同様に働いています。日本のように「女性活躍担当大臣」を設ける必要は無さそうです。ですから、子供たちの面倒をみるのはお祖父さんやお祖母さんの役目です。核家族ではないんですね。保育園があちこちにあって、毎朝出勤時に、子供を連れていく老人の姿を見かけましたし、帰宅の途次では、孫の手を引いて保育園から帰っていく姿をしばしば目にしました。

ウランバートル市での公共交通機関はバスです。日本のＯＤＡ援助に依るので、車体にモンゴルの国旗と並んで日の丸が描かれています。援助に依るバスであると明記されてもいます。ただ、少し古いタイプでステップが高い。お年寄りは乗るのが大変です。特に冬は着膨れているので、一人で乗り込むのが難しい。でも、乗ろうとする老人に車内の人が手を差し伸べ、後ろの人は押してあげて、若い人が皆で助けています。もちろん中に入ればすぐに座ってもらいます。降りる時も同様手伝います。こういう光景は何度も見かけました。日本のようにシルバーシートなどというものを用意する必要はありません。老人は自分の役割を果たすと同時に、若い人たちから尊敬され大事にされています。

日本では最近は老人があまり大切にされていないようですね。これまで長年働いて社会に貢献してきた老人は、どちらかというと邪魔者扱いされている気配がうかがわれます。老人のひがみでしょうか。その点、モンゴルでは昔の日本のように家族同士が支え合うと同時に、老人が尊敬され大切に扱われています。見ていて気持ちがよいのみならず、羨ましく思いました。

係長研修

エンゼル福祉会を第一線で引っ張っていく柱、「係長」。
３カ月毎に「法人合同係長研修」を行い、
抱える問題を挑める課題に変換しています。
１つ１つの前進成果が、「目指すべき介護社会」へと歩み寄る…

**がんばれ！
若き勇者たち！！**

技術検定研修

毎月、入居者の残存機能を活かした支援、声かけや説明同意など、介護技術の基本的な動作を職員が講師、入居者役を担い検定形式で学び、介護職員の技術の底上げを目的に行うとともに、適切な介助方法を指導できる職員の育成を目指しています。

認知症研修

専門性を高めるために、毎年認知症研修を実施しています。記憶障害や理解・判断力の障害がもとになり、周囲の環境や人間関係などが影響して出現する症状（行動・心理症状→興奮・妄想・うつ等）について、今年は特に注力しました。症状が起きる原因や背景を探り、認知症の方の辛く悲しい思いや生活のしづらさを考えました。

今後も、認知症の方が安心して生活していける支援をチームワークで追求していきます。

シリーズ 呼吸気功法 レッスン③

「気」ってなーに？

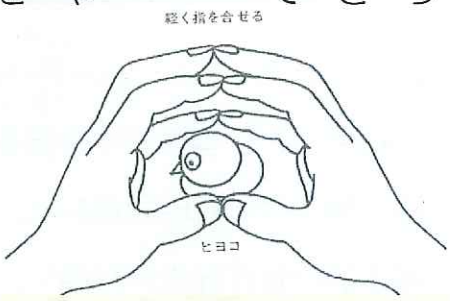
気とは生命そのものです。
特別な人が特別な訓練によって、獲得した不思議なパワーなどではありません。誰もが持っている、生きるために必要な普通なエネルギーです。
呼吸を整え、気持ちを整え、姿勢を整えることで、意識がうまれ「気」が全身をめぐります。

1、呼吸気功を5分間行います。

2、ゆっくりと目を開けて、左右の指先を図のように合わせます。できるだけ軽く合わせてください。イメージとしては、手のなかで大切な命でも守っているような感じです。

3、そして2~3回呼吸気功を繰り返します。指先や手と手の間に、温かいものやモヤモヤしたものを感じれば、それが「気」です。

※「気」を無理に感じようとしてはいけません。1回で感じられる人もいれば、時間のかかる人もいます。自分にあったペースで自然に「気」を感じて下さい。



編集後記

この川柳の地域の秋祭りとしてお馴染みになりました「和（なごみ）太鼓祭り」もお陰さまで、９回目となりましたが、これもご近所さんのご理解があってこそ、毎年、行えていることに職員一同、本当に感謝致しております。

地域の方の生の声を隅々まで聞くことができていませんが、果たして、なごみの郷は皆さまに貢献できているのでしょうか・・・今回は、その祭りの模様を特集として載せてみました。

是非、お楽しみ下さいませ！

お気軽にお問い合わせください
越谷市川柳町 3-60-1
TEL 048-987-0753

ホームページが新しくなりました！

施設、サービス、職員…越谷なごみの郷のことがもっとわかりやすくなりました。

「いつまでも、その人らしく暮らし続ける事ができるよう」

この気持ちを胸に、私たちは日々、業務に取り組んでいます。

http://www.k-nagomi.or.jp

越谷なごみの郷で検索！

越谷なごみの郷